

田辺三菱製薬株式会社



田辺三菱製薬

ESGに関する意見交換会

2019年9月27日

1 価値創造プロセスとマテリアリティ

代表取締役社長
三津家 正之

2 ESGに関する取り組み

G : コーポレート・ガバナンス

S : ダイバーシティ & インクルージョン / 健康経営 / 企業市民活動

E : 環境への取り組み

代表取締役 専務執行役員
子林 孝司

3 意見交換・質疑応答

ファシリテーター
有限責任監査法人トーマツ 秋山 造
ESG・統合報告アドバイザー
シニアマネジャー 公認会計士

1

価値創造プロセスとマテリアリティ

代表取締役社長 三津家 正之

企業理念

**医薬品の創製を通じて、
世界の人々の健康に貢献します**

中期経営計画16-20

Open Up *the Future*

医療の未来を切り拓く

未来を切り拓く
「4つの挑戦」

挑戦 1 パイプライン価値最大化

挑戦 3 米国事業展開

挑戦 2 育薬・営業強化

挑戦 4 業務生産性改革

重点領域

免疫炎症

中枢神経

糖尿病・腎

ワクチン

社会への価値提供

健康寿命の延伸

治療

患者さんやご家族のQOL向上

予防

病気の重症化、感染症の発症を防ぐ

治療 患者さんやご家族のQOL向上

免疫炎症

レミケード
(関節リウマチ他)

- 世界初の抗ヒトTNF モノクローナル抗体製剤
- **関節破壊・激しい痛みを抑制し**、
リウマチ患者さんのQOL向上に貢献

MT-5547
(変形性関節症)

- 臨床開発中
アンメット・メディカル・ニース
- 既存治療よりも**鎮痛効果が高く**、**副作用が少ない**治療法

中枢神経

ラジカヴァ/
ラジカット
(ALS)

- 自社創製のフリーラジカル消去剤
- 米国で約20年ぶりのALS治療薬であり、
病態の進行を抑制する

ND0612
(パーキンソン病)

- 臨床開発中
- 医薬品とデバイスを融合
アンメット・メディカル・ニース
- 標準治療薬でコントロールできない**不随意運動等の改善**

予防 病気の重症化、感染症の発症を防ぐ

糖尿病・腎

カナグル/
インヴォカナ
(2型糖尿病)

- 自社創製のSGLT2阻害剤
- 糖尿病性腎症を有する患者さんに対し、腎および心血管イベント抑制のグローバルエビデンスが発表された

MT-6548
(腎性貧血)

- 日本：申請中
- 1日1回の経口投与による良好な貧血改善効果と安全性が確認された

アンメット・メディカル・ニーズ

- 従来の注射剤とは異なる新たな治療選択肢

ワクチン

季節性インフルエンザ
風疹・麻疹
水痘 など

- BIKEN財団¹が開発・製造したワクチンの販売を実施
- 国民の生命と安全を守るために予防接種・ワクチンは必須の保健サービス

MT-2271
(季節性インフルエンザ)

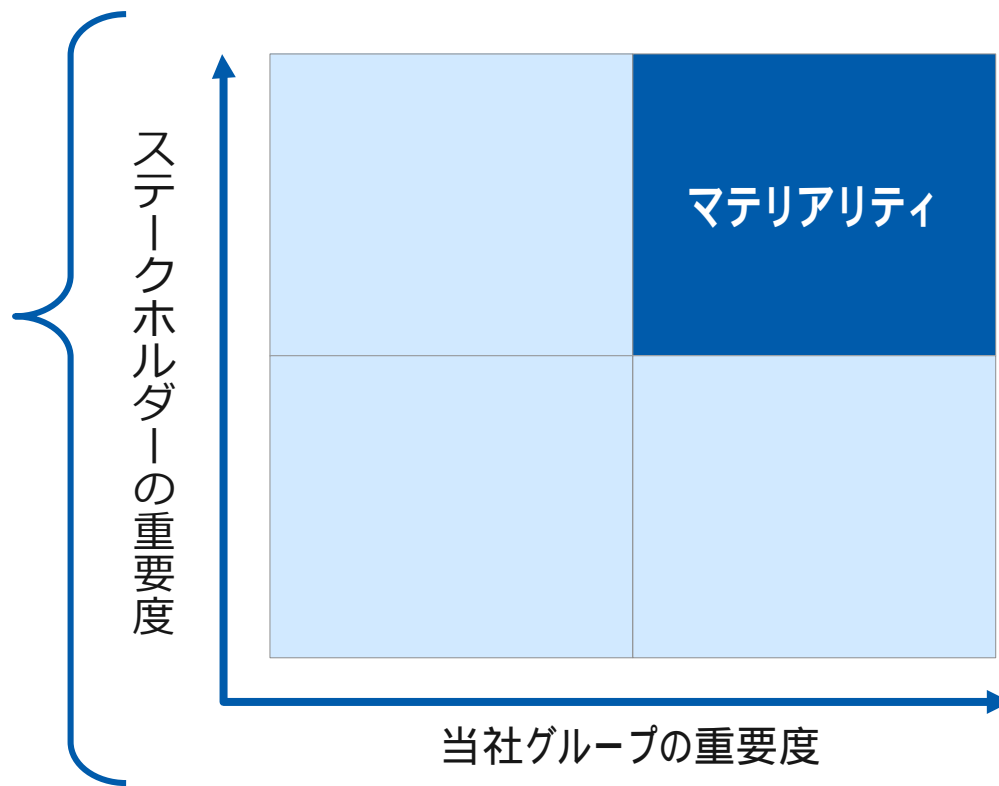
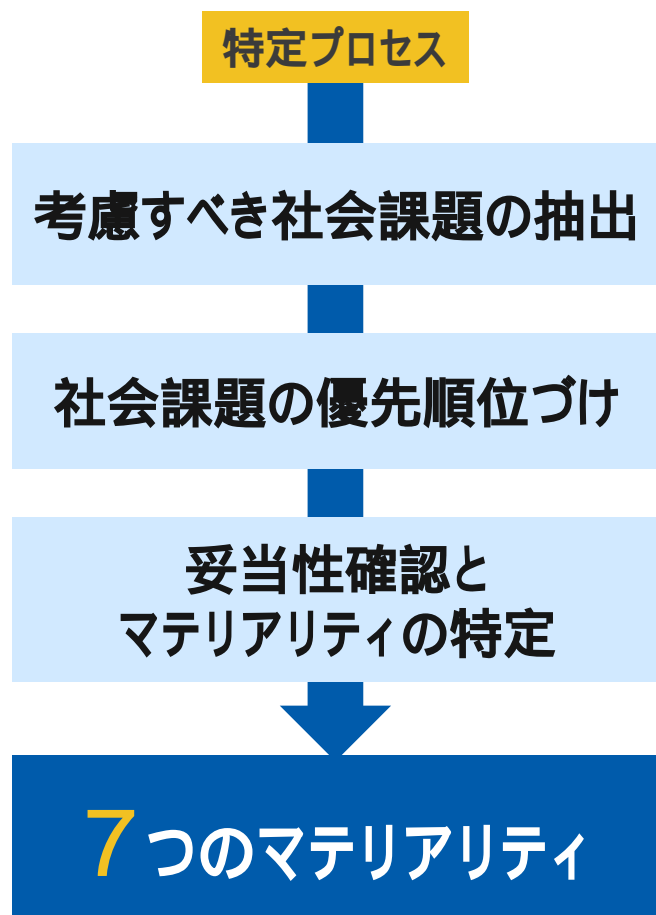
- 臨床開発中
- 植物由来VLP技術を使用

アンメット・メディカル・ニーズ

- 安全面や製造期間において優れたワクチン

マテリアリティの特定プロセス

事業を通じて社会に価値を提供し、持続可能な社会の実現に寄与する考えを明確化した上で、当社が取り組むべき重要課題を「マテリアリティ」として特定しています



7つのマテリアリティ

7つのマテリアリティ

新たな価値を持つ医薬品・医療サービスの創製

製品の品質保証と安定供給

製品の適正使用の推進

倫理的で公正・誠実な事業活動

ステークホルダーとの対話と

信頼される情報開示

従業員の健康と多様性の尊重

人々の健康に関連する
社会貢献活動

健康寿命の延伸
(治療、予防)








マテリアリティ

SDGs



マテリアリティとモニタリング指標

マテリアリティ	主なモニタリング指標	2018年 実績	関連する SDGs
新たな価値を持つ 医薬品・医療サービスの 創製	承認数（過去5年） 当社が提供する オーフアンドラッグの使用患者数 ワクチン出荷数	23件 10万人 1,700万本	 
製品の品質保証と 安定供給	グループ製造所における 自責クレーム発生率 品質の問い合わせに対する顧客満足度	1 ppm 92.4%	 
製品の 適正使用の推進	臨床研究に関する外部発表数 （論文・学会等） MRによる安全管理情報収集件数	56件 7,419件	 
倫理的で 公正・誠実な事業活動	コンプライアンス研修受講率 コンプライアンスに関する従業員の意識 （5点満点）	97.7% 4.34点	 

マテリアリティ	主なモニタリング指標	2018年 実績	関連する SDGs
ステークホルダーとの 対話と信頼される 情報開示	投資家向け説明会・面談実施数 従業員の経営層に対する理解度 (5点満点)	198回 3.68点	
従業員の健康と多様性 の尊重	有給休暇取得率 喫煙率 女性管理職比率 従業員国籍数	68% 19.8% 20.2% 29カ国	  
人々の健康に関連する 社会貢献活動	健康支援サイト訪問者数 手のひらパートナープログラム助成団体数 (2013年度助成開始以降累計)	729万人 91団体	  

価値創造モデル

「医薬品の創製を通じて、
世界の人々の健康に貢献します」

私たち田辺三菱製薬は2007年10月に発足しました。
世界の人々の健康に新たな価値で貢献するために、今でも、そしてこれからも、
医療の未来を切り拓く私たちの挑戦は続いています。

社会への価値提供

関連するSDGs

事業・戦略

マテリアリティ

価値創造の礎

- 多様な人材
- コンプライアンス
- コーポレート・ガバナンス

強み

- 創薬力/育薬力
- 患者さん・医療関係者からの信頼
- 国際・実業OCNA
- 伝統ある製薬企業としてのコアバリューチェーン

想い

世界の人々の健康に貢献

マテリアリティ

- 新たな価値を持つ 医薬品・医療サービスの創製
- 製品の品質保証と安全供給
- 製品の適正使用の推進
- 倫理的で公正・誠実な事業活動
- ステークホルダーとの対話と信頼される情報開示
- 従業員の健康と多様性の尊重
- 人々の健康に関連する社会貢献活動

“Open Up the Future”
医療の未来を切り拓く

事業・戦略

戦略

中期経営計画16-20

事業プロセス

重点4領域

- 先端医療
- 慢性病・腎
- 中枢神経
- ワクチン

社会への価値提供

“健康寿命の延伸”

価値創造へのアプローチ

独自の強みを一貫して発揮するための

開発パイプライン

最先先端薬品への貢献

モダリティ・デジタル変革

患者さんご家族のQOL向上

QOL(クオリティオブライフ)、つまり人生全体の生活の質を高めることに貢献しています。

社会の生産性向上

優れた医薬品・医療サービスを提供することで、社会の生産性を高めることに貢献しています。

疾病の予防

健康を予防するワクチンや病気の療養を未然に防ぐ薬品を通じて、人々の健康維持に貢献しています。



主要なステークホルダー

- 患者さんご家族
- 医療関係者
- 株主・投資家
- 従業員
- 取引先
- 地域社会

リスク

- 世界的な流行病の発生・拡大による影響
- 規制緩和・スタンダードの緩化によるリスク
- 新興・開発途上国の医療従事者の不足

機会

- 健康寿命延伸・高齢化の進展
- デジタルヘルスケアの普及
- AI・IoTによる医療・健康情報の活用

2

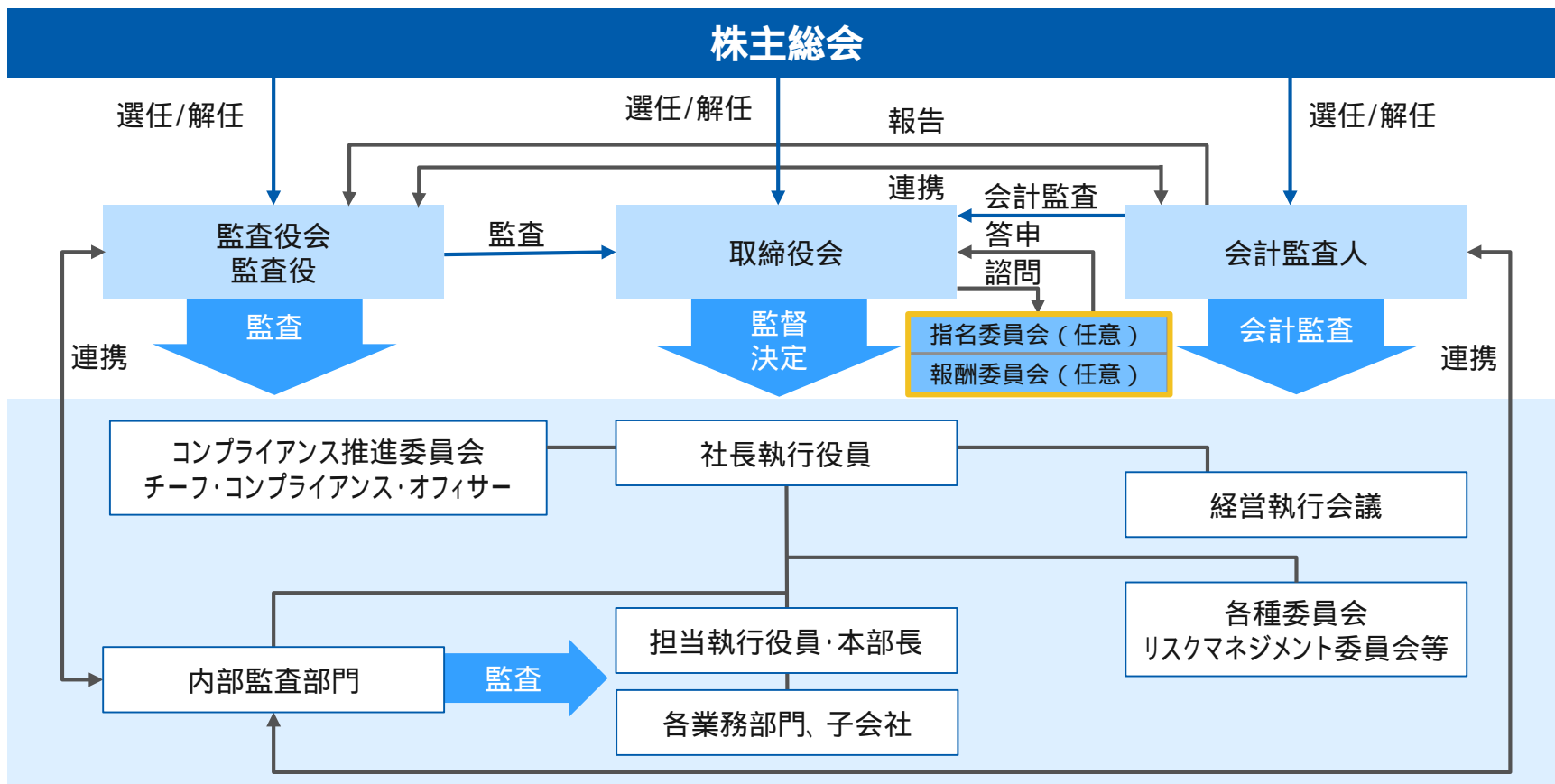
ESGに関する取り組み

G：コーポレート・ガバナンス

S：ダイバーシティ&インクルージョン/健康経営/企業市民活動

E：環境への取り組み

代表取締役 専務執行役員 子林 孝司

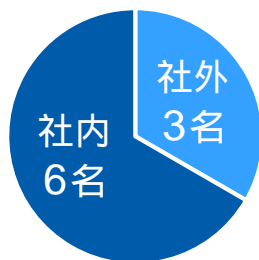


「監査役会設置会社」を採用

- 製薬会社として、経営判断、監査における薬事・薬業に係る深い知識と経験の必要性への対応
- **独立社外取締役**による経営の意思決定・監督機能における透明性、客観性の確保
- 高い専門性と経験を有する**独立社外監査役**による客観的な立場からの適切な監査

G : 社外役員の構成

独立社外取締役



いわね しげき
岩根 茂樹
関西電力(株)
代表取締役
取締役社長



かみじょう つとむ
上條 努
サッポロホールディングス(株)
取締役会長



むらお かずとし
村尾 和俊
西日本電信電話(株)
相談役

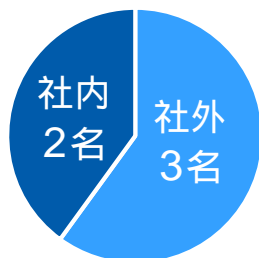
専門性

企業経営

企業経営

企業経営

独立社外監査役



ふくだ ただし
福田 正
弁護士
弁護士法人
第一法律事務所
代表社員



えのき ひろし
榎 宏
公認会計士
榎宏公認会計士
事務所 代表



まる みつえ
丸 光恵
甲南女子大学
看護リハビリテーション学部
国際看護開発学 教授

専門性

法律

会計

医療

G：任意の諮問委員会（指名・報酬）

独立社外取締役を委員長とし、過半数を独立社外取締役に構成する任意の「**指名委員会**」および「**報酬委員会**」を設置、運営しています

委員構成	独立社外取締役			社内取締役
	岩根 茂樹	上條 努	村尾 和俊	三津家 正之
指名委員会	委員長	○	○	○
報酬委員会	○	委員長	○	○

活動内容：透明性・客観性ある審議を行った上、取締役会へ答申を行う

指名委員会	報酬委員会
2018年度の開催回数：4回 主な審議内容 • 候補者の選定について （執行役員、取締役、監査役）	2018年度の開催回数：4回 主な審議内容 • 2017年度個人別業績評価について （取締役・執行役員報酬額） • 2018年度個人別目標の設定について • 業績報酬制度の見直しについて

G：取締役・執行役員報酬（非常勤取締役を除く）

当社グループの中長期的な業績に連動させるとともに、当社の株価上昇によるメリットのみならず、株価下落によるリスクを株主の皆様と共有することで、取締役に対する当社グループの**持続的成長と中長期的な企業価値向上へのインセンティブ**としています

報酬

基本報酬（70%）

役位別の定額制

業績報酬（20%）

当該年度の会社業績、個人業績評価に基づき、役位に応じて、0～200%の範囲で支給

株式報酬（10%）

対象期間	中期経営計画期間に対応する事業年度（5事業年度）
業績達成条件	業績目標値の達成度に応じて0～200%の範囲で支給
業績指標	連結売上収益、純利益
交付の時期	退任時
方式	信託方式

G：取締役会の実効性評価

取締役会の実効性を高め企業価値を向上させることを目的として、年1回評価を実施し、実効性の向上を図っています

評価の方法（自己評価）



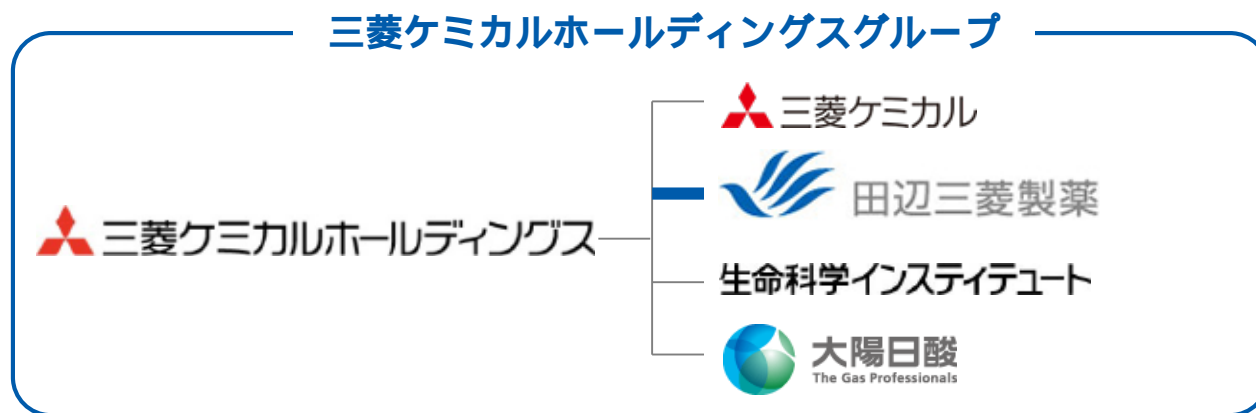
評価項目	1 . 機関設計	2 . 取締役会の構成、運営、審議内容	3 . 社外役員への情報提供
	4 . 指名・報酬委員会の体制	5 . 役員研修内容	6 . 前年度評価に対する対応

2018年度評価結果 概要

- ┆ 監査役会設置会社として、実効性は良好に確保されている
- ┆ 取締役会で挙げられた改善が期待される点
 - モニタリングの充実（中期経営計画の進捗、リスク・コンプライアンスなど）
 - 取締役会外での議論の場の設定
 - 社外取締役、監査役間のコミュニケーションの充実

G：親会社との関係

株式会社三菱ケミカルホールディングス（当社株式56.34%を保有、以下「MCHC」）との関係において、**少数株主の利益が毀損されることはありません**



当社のMCHCグループでの位置づけ

当社は、同社グループ内でヘルスケア事業の中心的な役割を果たしています

同社グループの事業会社4社間のシナジーを最大限に活用し、価値創造につなげています

経営の自主性

当社は、上場会社として独立した判断基準に基づいて経営を行っています

また、経営上の諸決定事項について、MCHCの事前承認を要する事項はありません

G：リスクマネジメント・コンプライアンス

リスクマネジメント

「リスクマネジメント規則」を制定。海外子会社を含めたグループ全体の事業活動におけるリスクの発生を防止し、リスクが発生した場合にはその損失を最小限にとどめるための体制を構築しています

コンプライアンス

チーフ・コンプライアンス・オフィサーを委員長とするコンプライアンス推進委員会を中心にコンプライアンス推進体制を構築しています

年に1度「企業行動憲章確認の日」を設定し、すべての従業員が事業活動の原点である企業行動憲章に立ち返る日と位置付けています



おおたき めぐみ
大瀧 芽久美

執行役員
チーフ・コンプライアンス・オフィサー

企業行動憲章

私たちは、一人ひとりが高い倫理観を持ち、公正かつ誠実であることをすべてに優先し、

つぎのとおり行動します

使命感と誇り

挑戦と革新

信頼と協奏

社会との共生

当社は、経営戦略における重要課題として、ダイバーシティ&インクルージョンの推進に取り組んでおり、種々の認定および外部表彰を受賞しています

両立支援（仕事と育児）



くるみん認定

2007年から連続して取得しています。2019年度は、子育てサポート企業として高い水準の取り組みを行っている企業と認められ、「**プラチナくるみん認定**」を取得しました（2019.7）

男性の育児参画



イクメン企業アワード2018
両立支援部門で特別奨励賞を受賞しました（2018.9）



営業車にチャイルドシートを設置可能

女性活躍



えるぼし認定

女性活躍推進に関する取り組み状況が優良な企業が認定されるもの。当社は最高位の3段階目に認定されています（2016.4～）

S : 健康経営

従業員の健康増進を通じ、労働生産性の向上、企業価値の向上につなげる健康経営に取り組んでおり、3か年卒煙プログラムは重点施策の一つです

3か年卒煙プログラム：3年間で段階的に禁煙するプログラム

	2017年度	2018年度	2019年度
喫煙率目標	20%	18%	喫煙率5% を目標
喫煙率	20.5%	19.8%	
禁煙DAY	金曜日	全営業日	

主な取り組み

- | **就業時間中禁煙の就業規則明文化**
- | 社内の喫煙室をすべて撤去
- | 禁煙を望む喫煙者への支援
- | 管理職以上の禁煙の率先垂範

Before



After



2019年度より、社内の喫煙室はすべて閉鎖

東京本社では喫煙所を改修し、憩いのスペースとして再利用

患者さんご家族の支援

「田辺三菱製薬 手のひらパートナープログラム」

2012年に難病患者団体支援助成
として創設

病気に苦しむ難病患者さんのQOL向上や
ご家族の支援を行うための活動

助成団体数 国内91団体（累計）



医療アクセス向上

グローバルヘルス技術振興基金 (GHIT Fund)

2015年よりプログラムに参画。開発途上国に蔓延する感染症の撲滅のための共同研究と資金提供。抗マラリア薬の候補となるリード化合物2種類を取得し、共同研究を開始

途上国ワクチン支援プログラムへの参加

従業員参加による途上国の子どもたちへの
ワクチン支援プログラム

2018年度 支援ワクチン14,500人分



当社オリジナルポスター

S : 疾患啓発 健康支援サイト

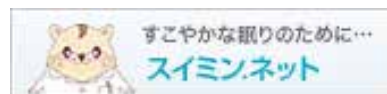
「健康支援サイト」

2018年度、729万人が国内外のWebサイトを訪問

<https://di.mt-pharma.co.jp/health-support/>

- Webサイトを通じ、様々な疾患に関する疾患啓発活動を実施
- 各サイトでは、病気の症状や診断、治療などについて、患者さんやご家族の方々にわかりやすく掲載

国内の「健康支援サイト」



E：環境への取り組み CO₂排出量の削減

環境目標

環境活動において、「省エネルギー・地球温暖化防止」、「廃棄物の削減・水資源の有効利用」、「化学物質の排出削減」、「生物多様性の保全」の4つの重点課題を設定

省エネルギー・地球温暖化防止

CO₂排出量の削減

2020年目標

国内：40%削減

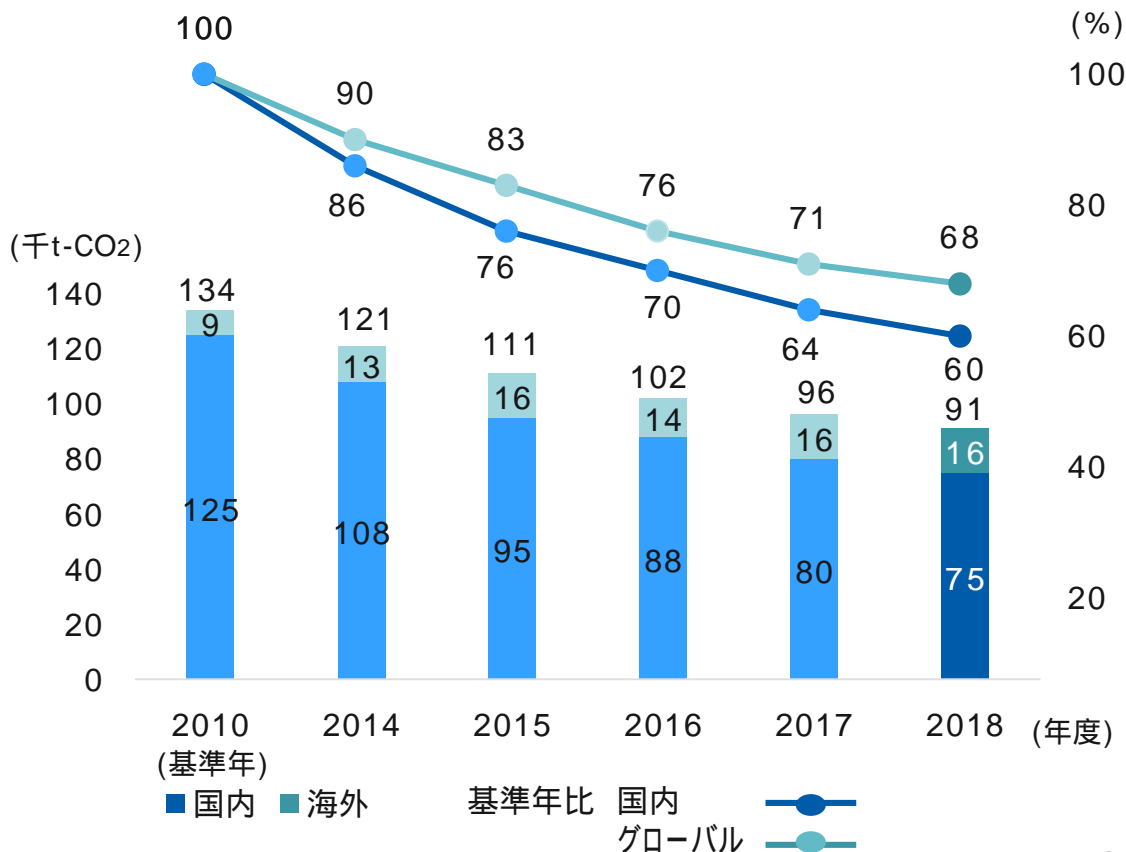
グローバル：35%削減

(基準年2010年度比)

2018年度実績

国内：40%削減

グローバル：32%削減



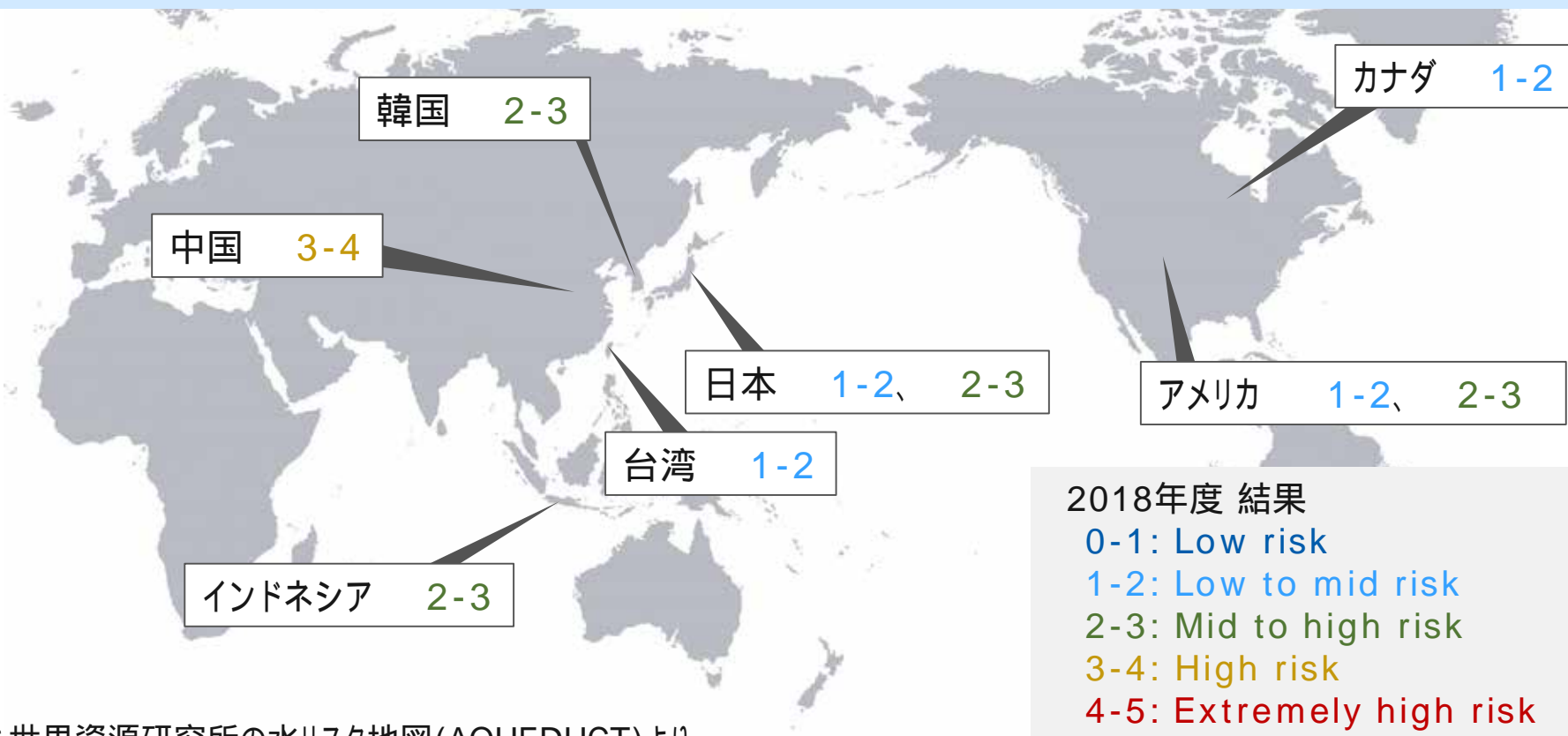
E：環境への取り組み 水資源の有効利用

廃棄物の削減・水資源の有効利用

水リスクの評価

気候変動による影響とみられる渇水や洪水、水質汚濁、世界的な水使用量の増加など、企業活動における水資源への対応は重要な課題と認識しています

2018年度より、国内外の生産・研究拠点を対象に、**地域の水リスク（量的リスク）**に関して調査し、水資源に関する取り組みにつなげています



* 世界資源研究所の水リスク地図(AQUEDUCT)より

この手で、 未来を。

感じる 描く 動かす
創る 育てる 届ける
そして 抱きしめる

健康で長生きできる未来を
病とその不安を乗り越える未来を
理想のその先にある未来を

一人ひとりの手で
みんなの手で
希望を信じるこの手で



田辺三菱製薬のシンボルマークは手のひらをモチーフにしています。

www.mt-pharma.co.jp

注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承ください。

医薬品(開発品を含む)に関する情報が含まれていますが、それらは宣伝・広告や医学的なアドバイスを目的とするものではありません。